

平成16年3月2日

国内株式委託手数料一部改定について

～「いちにち定額コース」片道手数料の無料化～

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、ディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJ」）は、4月初めを目処に国内株式委託手数料の一部改定を行います。

今回の手数料改定は、競合他社の手数料引き下げに対応するとともに、比較的短期売買を行う個人投資家の取引コストを引き下げ、相場環境に応じた機動的な売買を一層促進することを狙うものです。

現在、DLJでは、国内株式委託手数料体系として、「いちにち定額コース」と「ひとつき割引コース」の2コースからの選択制を採用しています（詳細は添付、商標登録済み）。

今回は、「いちにち定額コース」の手数料体系を変更し、1日のうちに同一銘柄を売買（日計り）した場合の片道分手数料を無料といたします。手数料計算における約定代金合算に際して、片道分約定代金を含めずに計算いたします。

「いちにち定額コース」とは…（詳細添付）

1日のうちに頻繁に売買する方向けの体系で、1日の約定代金合計300万円までならば、何回取引しても3,000円。1日の約定代金合計が300万円増すごとに3,000円加算、といった内容になっています。

今回の手数料改定により、例えば、下記のようなケースではこれまでに比べて手数料は半額となります。

銘柄	取引	株数	価格	約定代金
A	買	5000株	400円	2,000,000円
A	売	5000株	450円	2,250,000円
合計				4,250,000円

従来：手数料計算のもととなる約定代金が425万円となり、手数料は6,000円。

改定後：売りの約定代金を含めずに計算するため、手数料計算のもととなる約定代金が200万円となり、手数料は3,000円。

DLJは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本で最初のインターネット取引専門の証券会社です。楽天株式会社(96.7%)と三井住友銀行(3.3%)が株主となっています。

参考：DLJの国内株式委託手数料体系（2コースの選択制）

【いちにち定額コース】

一日の約定代金合計 300 万円までならば、何回取引しても 3,000 円。一日の約定代金合計が 300 万円増すごとに 3,000 円加算。

取引種別（現物・信用・夜間）や市場種別（東証・大証・JASDAQ・ヘラクレス）の違いによる区別は一切なし。

（消費税別）

約定代金合計	株式委託手数料
300 万円まで	3,000 円
600 万円まで	6,000 円
900 万円まで	9,000 円
・	・
・	・
・	・

【ひとつき割引コース】

取引毎に課金する手数料体系。

取引回数の比較的少ない方や一取引あたりの売買代金が大きな方向けの内容。当該月の取引回数が 20 回を超えた翌日から一律 700 円。

手数料 700 円においては、取引種別（現物・信用・夜間）や市場種別（東証・大証・JASDAQ・ヘラクレス）の違いによる区別は一切なし。

（消費税別）

回数	取引種別	区分	成行注文	指値注文
当該月 20 回まで	現物 夜間	インターネット取引	1,900 円	2,500 円
		マーケットコール（自動音声による注文）	1,900 円	2,500 円
	信用	インターネット取引	2,400 円	3,000 円
当該月に 20 回を超えた翌日より			700 円	700 円

現物取引の場合、

- 約定代金 1,000 万円以下の場合。（1,000 万円超の場合、100 万円まで毎に 50 円の追加）

信用取引の場合、

- 約定代金 300 万円以下の場合。（300 万円超の場合、100 万円まで毎に 500 円の追加）